

風人 *F u - Z i n*



PHOTO 博多の秋の空

第24回

NPO博多の風 フォーラム 報告

- 第9回 博多のおいしゃんと歩こう「追い山笠コース探訪」
- 第10回 祭り童子集まれ楽文コンテスト表彰式 告知

第25号

平成22年10月発行

NPO博多の風フォーラム

去る平成22年4月17日、福岡市博多小学校「表現の舞台」にて、第24回NPO博多の風フォーラムを開催しました。

はじめに、木村大作監督の「劔岳 点の記」公開記念「活動屋 木村大作最後の闘い」の紹介がありました。「劔岳 点の記」は、本年度の日本アカデミー賞でも数々の賞を受賞しています。大庭理事長は、公私共に木村監督と交友があり、昨年の映画公開以来、全国数箇所、木村監督の講演に参加されました。紹介後、大庭理事長による「何のために」と題した講演が行われました。木村監督と出会い、話をしていく中で「何のために」ということが浮かんできたそうです。その木村監督や映画撮影にまつわる話を交えながら、私たちが普段見落としている心持ちについて話していただきました。

木村監督の「何のために」

木村監督は、今の日本映画に挑戦するんだと言われていました。今の日本映画は、テレビでヒットしたものをそのまま映画にして、安易に高額の興行収入を得てしまうものが多いから木



村監督は、「本物の映画」を作

てみんなに見てほしい、感じてほしいそうなんです。これが木村監督の「何のために」なんです。また、この映画に出てくる時代の人は、「自分の使命は何なのか？」と自分がすべきことに対して、とにかく一途にやっています。こういうところが日本人の持つ美しさではないでしょうか。この映画の中の「何のために」は、「地図を作るため」それだけです。今の時代だったら、

「何のためにこんなことをしないかん？何のためにきつことせないかん？」となる。でも「生懸命やること」に、人間としての「何のために」の答えはあるということ、そして、自分なりに「何のために」

を創っておくと木村監督は言いたいのではないかと思います。

スタッフにとつての

「何のために」

最低気温マイナス40度という過酷な環境の中でこの撮影は続けられるんですが、もう少しで終わるという時に、事故が起ったんです。木村監督は「事故があったときに、撮影はやめる。」と思っていたので、今後のことについてスタッフ全員を集めて話し合ったそうです。その時、「命までかけてやる仕事なのか。」という意見も出たそうです。そうして、やめようという雰囲気になってきた時に、「せっかく一番若い松田龍平が、」

ここまでやったんじゃないですか。何のためにやったといたら、映画つくるためでしょ。ここまできて最後までやらなくちゃ、意味が無いじゃないですか。」と。それで最後までやろうということになったんです。

わたしたちにとつての

「何のために」

「何のために」仕事をしているのでしょうか？食べるため、家族を養うため、もちろんそれもありません。自分がやっている仕事で、幸せになる人もいれば、力を貰う人もいます。一人でも二人でも良かったと思ってくれることも大事なことでないかと思えます。

「何のために」と考える時は、シンプルに考えることが大切です。「あーでもない、こーでもない。」「あれもある、これもある。」と考えるはいけません。少しだけで考えて、シンプルに考えること



大庭 宗一 (おおば そういち)
NPO博多の風 理事長

昭和25年 博多区下土居町生まれ。博多を拠点にエッセイストとして活動中。エッセイ集の発行の他に新聞・雑誌等へも多数寄稿している。また、ラジオのパーソナリティとしても活躍中。

です。それと「言い切る」事も大切です。自分が覚悟するためです。人から聞かれた時に、スパッと答えられなければ答えにはなっていない。組織運営の中で大切な事として、今どうするかという視点ではなく、今から先20年、30年たったときに組織の後輩達がやっていけるのかを考えて、意見を吸い上げながら実行している方もいらっしゃる。一番よくないのが、「今までどうだったからできません。」ということですね。「これをやるために、どうすればいいのか」と考える事が大切です。今までどおりであれば、誰でもできる。それをどうやって繋げていくかという事を考える事が一番大切だと思えます。

「何のために」人は生きているのでしょね？それは、生をうけたからでしょう。でも、ただ生きていくだけでなく、自分なりの生き方、大事なことがあるは



ずです。好きな人もいれば、仲間もいれば、仕事もあるはず。二つ二つのことを「何のために」と考えることは、自分のために、自分の生き方のためになるのではないかと思います。では、「何のために」勉強するのでしょうか？「勉強して、いい学校に行つて、ちゃんとした大人にならなさい。」と言われていたけれど、そうとは限らない。勉強しなければならぬのは、ある程度大きくなつて、やりたいたことが見つかった時に役に立つからです。勉強してきてなかつたら「から始めなくてはなりません。

私たちが参加している「山笠」という祭り。「何のために」参加しているのでしょうか。いろんな人がいますが、自分たちがいい思いをさせてもらったのなら、それを次の世代にもつといい形でつなげていくということが一番大事だと思うんです。

この山笠の地域でも子ども数は少ないんです。そして、その少ない子どもたち全員が山笠に関わるように育つわけではないんです。途中でやめてしまつたり、続けたいけど就職で離れてしまつたり。でも、可能性を探りながら、気持ちを

つなぐことが大切なんです。そういう意味では、一番いいのは「あこがれ」なんです。

実はうちの町内に、波左間翔太君という子がいるんです。彼が「楽文コンテスト」で受賞した文が、今話している「何のために」という内容と合うので、ここで、紹介させてもらいます。

(前略)祭りは伝統や文化がささえています。しかし、人、心がなければ、長いお祭りは続かない。そう思います。まだまだ5年しか参加してませんが、毎年色んな事を学び、ボクの尊敬している山笠のえらいおじちゃんみたいになつて山笠の歴史を伝えていく一人になりたいと今年も15日の朝、思いました。

「何のために」山笠をやっているかという、こんな子どもが出てくるためにやっているのかなあと、思います。

なぜ「何のために」

大切なのは、生きている時に何をするかということ。これが「何のために」ということにつながるんだと思います。「一番大事なのは、今日を一生懸命生きることですね。今日の一生懸命は、必ず明日につながっていくはず。今日、一生懸命生きることで、いい明日を迎えるための一番の道だと思えます。そして、生きていることはありがたいなと思えます。だからこそ、世の中に

いらぬ人間なんて二人もいないんです。生きていけば、だれかの役に立つんです。存在だけで、生きているというだけで、人を幸せにできるんです。

では、いい生き方とはどんな生き方なのでしょう？例えば、今度生まれ変わったとしたら、どんな人間になりたいのか？と聞かれたら、もう一度、自分になりたいと思います。そう言えるような生き方、今一生懸命やればいいのではないのでしょうか。生きている今、それができるかどうか。「何のために」というのはそういうことかなと思います。

この後、大庭理事長と司会の沢田幸二さん(九州朝日放送アナウンサー)との、普段は聞けないような「線」で活動されているお二人だからこそできる話がありました。「こだけの話」もたくさん披露してくださり、会場はおおいに盛り上がりました。

今回、「何のために」をテーマに話がありました。普段、あわただしく時間に追われて過ごしている私。しかし、ちょっと立ち止まつて、今の自分を見つめなおすことの大切さを感じました。短い時間でしたが、心にたくさんのお土産をもらった気がしました。

【上野 透】

告知

第25回 NPO博多の風フォーラム開催のご案内

■開催日時:平成22年10月30日(土) 開場:13:30/開演14:00 ■開催場所:博多小学校「表現の舞台」

第1部

朗読会(第10回祭り童子集まれ 楽文コンテスト受賞作品 各賞1点朗読)
朗読者:富永倫子氏(予定)

第2部

講演 「私が博多に住む理由」
講師:杉浦孝昭氏(映画評論家 芸名:おすぎ)

※当日は午前11時より同会場にて、「第10回 祭り童子集まれ楽文コンテスト」の優秀作品表彰式を開催します。



3 榎田神社 清道を美しく、勢よく廻って、山笠を奉納します。



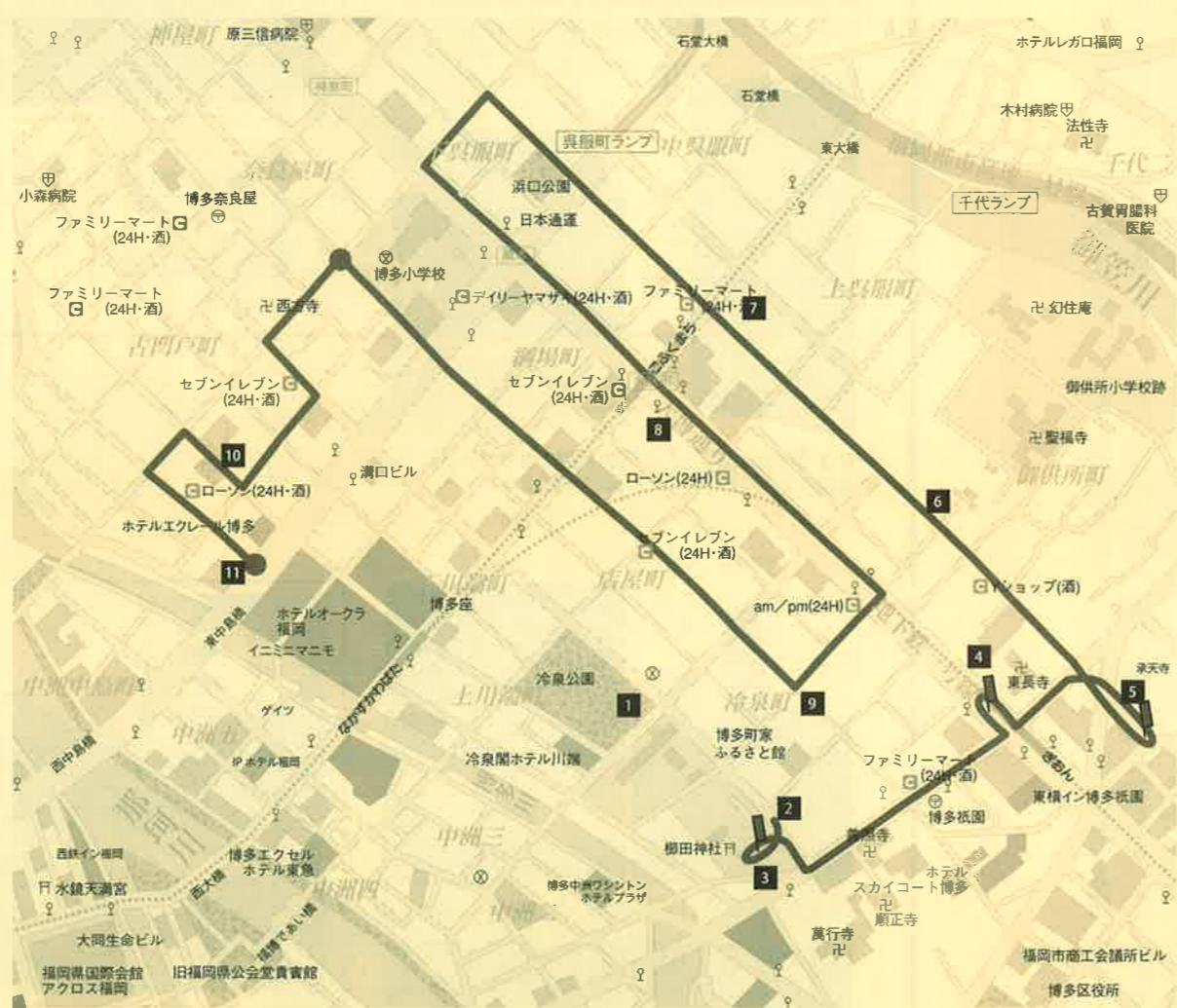
2 山留め ここから太鼓の音とともに、一気に清道を目指します。



1 集合 冷泉公園に集合します。今日はよろしくお願いします。



4 東長寺 境内には、博多大仏や黒田家の墓があります。



5 承天寺 山笠発祥之地の石碑の前で記念撮影です。

第9回 博多のおいしゃんと歩こう 追い山笠コース探訪 開催

平成22年6月6日(日)に今年で9回目になる「追い山笠コース探訪」が開催されました。今年も、新聞やラジオで幅広く参加者を呼びかけ、抽選で選ばれた約二百名の方が参加しました。参加者を10のグループにわけて、9時30分から3分おきに出発。当番法被に身を包んだ博多の風の仲間たちが「語り部」として案内しました。心配された天気も晴天にめぐまれ、汗ばむ陽気の中、約2時間をかけて博多の町を歩きました。



大庭理事長 NPO博多の風のメンバーがご案内します

■参加者の声
「初めて参加しましたが、追い山笠のコースがこんなに入り組んでいるとは思いませんでした。今年の7月15日は是非とも生で見たいと思います。」
「実際に歩いてみて、以外と高低差があるのに驚きました。昇き手の方ならではの解説は、臨場感があり、大変参考になりました。」
「博多の街にこんなに神社やお寺が多いとは思いませんでした。また涼しくなったら歩いてみたいと思います。」
「今は違うところに住んでいますが、小さいころに博多に住んでいました。小学校の近くもビルやマンションが増えていますが、歩いてみると当時の景色がよみがえってきました。」
「今日は説明を聞きながら、のんびり歩いて2時間ぐらいかかりましたが、追い山笠当日はこの距離を30分ぐらいで進むんですから、かなりのスピードさん頑張ってください。」



6 聖福寺 堀の内側では、「博多べい」を見ることができます



7 東町筋 高低差がある下り坂では山足が付きます



8 大博通り 「おポンプ様」は押すと水がでます。



9 ごんどう通り 狭い道幅の曲がり角は鼻取りの腕の見せ所です。



10 沖浜稲荷神社 境内には川上音二郎生誕の記念碑があります。



11 15日 廻り止め 最後の直線は廻り止めを目指して駆け抜けます。

追い山笠コース探訪 寺社仏閣の見どころ



忠之・光之・治高の三藩主が葬られている



高さ 10.8m の
福岡大仏



六角堂は毎月 28 日に
開帳されます



東長寺 (とうちようじ)

正式には南岳山東長寺といい大同元年(806年)に弘法大師が唐での御修行の後、帰国の際に博多に滞在された折に建立されました。真言宗の弘法大師創建の寺としては日本で一番古い霊場になります。中には、木造の座仏で日本一の大きさを誇る福岡大仏があります。

黒田家の菩提寺の一つで二代忠之(ただゆき)、三代光之(みつゆき)、八代治高(はるたか)の三藩主が葬られています。



川上音二郎の墓



饅頭・蕎麦発祥之地の石碑



承天寺 (じようてんじ)

宋から帰国した田爾弁円(聖一国師)を請じて仁治三年(1242年)に開山されました。聖一国師は、饅頭、蕎麦、饅頭など様々なものを宋から持ち帰ったといわれており、境内には、「饅頭蕎麦発祥の地」の石碑もあります。

仁治二年(1241年)に疫病が流行した際に、聖一国師が施餓鬼棚に乗り、津中を昇き巡らせて祈祷水をまき、疫病を鎮めたのが、山笠の始まりとされています。



山笠発祥之地の石碑 (山門の横にあります)



蒙古碓石

大庭宗一の大人気エッセイ

シリーズ第2弾

『自分頑張れ。2』

エッセイスト、ラジオパーソナリティーとして活躍中の大庭宗一氏（NPO博多の風理事長）が贈る『自分を奮い立たせる』ための活力エッセイ『自分頑張れ。2』が平成22年6月2日に発刊されました。「人生は己の努力次第で、大抵のものは取り戻せる。」と頑張る力がわいてくる熱いメッセージがいっぱい詰まったエッセイ集です。

博多の風発行の書籍が8冊になりました。



大庭宗一の

自分頑張れ。2



人生は己の努力次第で、大抵のものは取り戻せる。

NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

お問い合わせ
「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)

E-mail info@hakatanokaze.jp
FAX 092-263-7188

NPO博多の風の最新情報はホームページに掲載中です。



URL <http://hakatanokaze.jp>

第10回「祭り童子集まれ!!」 楽文コンテスト優秀作品表彰式

10月30日(土) 開場10:30/開演11:00

＜会場＞ 博多小学校「表現の舞台」

福岡市内外の小中学校から約940通に及ぶご応募を頂きました。第一次～第三次選考を経て、優秀作品の25名様を選ばせていただきました。みなさまのご来場をお待ちしております。



昨年(第9回)受賞者の皆さん

（編集後記）

10月になると二気に秋めいてきて、家の近くの田んぼにも、ようやく遅めの彼岸花が咲いていました。

娘と散歩をする中で、フォーラムの中で理事長がおっしゃっていた「何のために、生きるのか」という事について考えてみました。娘の姿を見てみると、彼女が大人になつて自分の手で生きていくようになるまで育てる為に、今の自分は生きていくのだからと思うし、娘だけでなく、次の世代の人間を育てることが、今の世代の役割なのではないかという事を感じました。

自分が上の世代の人から教えてもらった事は沢山あるが、それを上の世代に返すことはできない。それを下の世代により良い形で繋ぐことこそ、上の世代へ恩返しなんだと思います。

山笠の仲間との話の中で、「下の人間を育てる為には、自分自身が努力して成長し続けないと、育てる事なんてできないよ。」とも教えられました。もつともつと、いろんな事を吸収して「日に新た」の気持ちで頑張っていこうと思います。

中山 肇

平成20年

- 4月 第20回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:石原進氏(JR九州 代表取締役社長)
- 5月 第13回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 6月 第7回 追い山笠コース探訪 開催
第8回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
- 10月 第14回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 11月 第21回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:森山良二氏(福岡レッドワーブラーズ監督)

平成21年

- 4月 第22回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:山本義裕氏(前在福岡米国領事館商務官)
- 5月 第15回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 6月 第8回 追い山笠コース探訪 開催
第9回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
- 10月 第16回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 11月 第9回 祭童子集まれ楽文コンテスト表彰式 開催
第23回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:因幡敏幸氏(NPO博多の風 副理事長)
春日大野城那珂川消防本部特命監

平成22年

- 4月 第24回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:大庭宗一氏(NPO博多の風理事長)
- 6月 第9回 追山コース探訪 開催
第10回 祭童子集まれ楽文コンテスト 実施

NPO博多の風の歩み

■設立

平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一

■NPO登記

平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

■啓発事業

- ・博多の風フォーラム開催
- ・広報誌・HP発行
- ・毎日新聞世論フォーラム公聴
- ・作文コンクール(楽文コンテスト)実施

■地域環境向上事業

- ・博多の町親交
(清掃活動・クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)

■活性化事業

- ・書籍出版
- ・博多祇園山笠の振興
- ・山笠コース探訪開催

■協力事業

- ・各市民団体との情報交換及び支援

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16-302

FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakatanokaze.jp

URL <http://hakatanokaze.jp>

題字:新井光守

